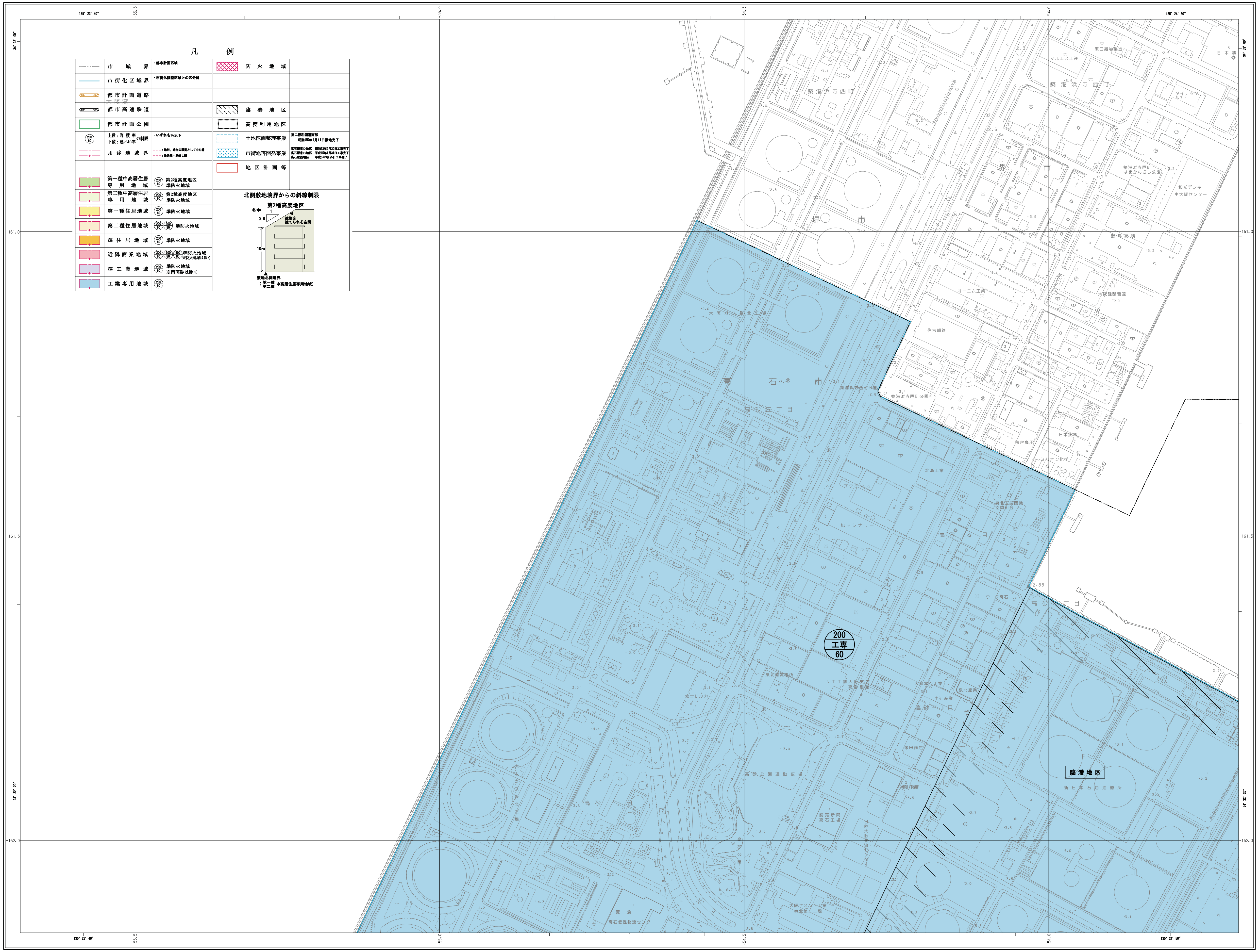
高石市全図


135° 23′ 40″
135° 24′ 50″
34° 32′ 20″
-55.5
-55.0
-54.5
-54.0
-161.0
-161.5
-162.0
堺　　市
高　　石　　市
築港浜寺西町
高砂三丁目
臨港地区
200
工専
60

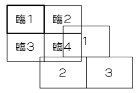
凡　　例

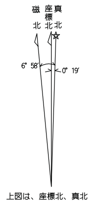
—・・—	市城界	・都市計画区域	▨	防火地域	
—	市街化区域界	・市街化調整区域との区分線			
	都市計画道路				
	都市高速鉄道		▨	臨港地区	
🟩	都市計画公園		⬚	高度利用地区	
200/60	上段：容積率 下段：建ぺい率 の制限	・いずれも%以下	⬚	土地区画整理事業	第二阪和国道南部 昭和55年1月11日換地完了
---	用途地域界	---：地形、地物の原則として中心線 -+-：後退線・見通し線	▨	市街地再開発事業	高石駅東D地区　昭和53年9月30日工事完了 高石駅東B地区　平成15年1月31日工事完了 高石駅西地区　平成5年9月25日工事完了
			🟥	地区計画等	
🟩	第一種中高層住居専用地域	200/60 第2種高度地区 準防火地域			
⬜	第二種中高層住居専用地域	200/60 第2種高度地区 準防火地域			
🟨	第一種住居地域	200/60 準防火地域			
⬜	第二種住居地域	200/60 300/80 準防火地域			
🟧	準住居地域	200/60 準防火地域			
🟥	近隣商業地域	200/80 300/80 400/80 準防火地域 ※防火地域は除く			
🟪	準工業地域	200/60 準防火地域 ※南高砂は除く			
🟦	工業専用地域	200/60			

北側敷地境界からの斜線制限

第2種高度地区

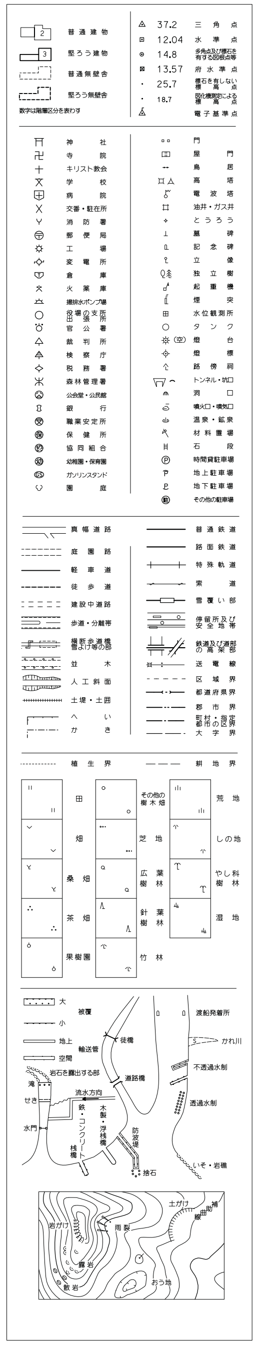
北
1
0.6
建物を建てられる空間
10m
敷地北側境界
（第一種 第二種 中高層住居専用地域）


臨1
臨2
臨3
臨4
1
2
3


磁北
座標北
真北
6° 58′
0° 19′

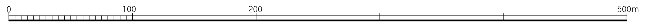
上図は、座標北、真北、磁北の関係位置を表わしたものである。

記　　号


普通建物
堅ろう建物
普通無壁舎
堅ろう無壁舎
数字は階層区分を表わす
37.2 三角点
12.04 水準点
14.8 多角点及び標石を有する図根点等
13.57 府水準点
25.7 標石を有しない標高点
18.7 図化機測定による標高点
電子基準点
神社
寺院
キリスト教会
学校
病院
交番・駐在所
消防署
郵便局
工場
変電所
倉庫
火薬庫
揚排水ポンプ場
役場の支所 出張所
官公署
裁判所
検察庁
税務署
森林管理署
公会堂・公民館
銀行
職業安定所
保健所
協同組合
幼稚園・保育園
ガソリンスタンド
園庭
門
屋門
鳥居
高塔
電波塔
油井・ガス井
とうろう
墓碑
記念碑
立像
独立樹
起重機
煙突
水位観測所
タンク
(空) 燈台
燈標
路傍祠
トンネル・坑口
洞口
噴火口・噴気口
温泉・鉱泉
材料置場
石段
時間貸駐車場
地上駐車場
地下駐車場
その他の駐車場
真幅道路
庭園路
軽車道
徒歩道
建設中道路
歩道・分離帯
横断歩道橋 雪よけ等の部
並木
人工斜面
土堤・土囲
へい
かき
普通鉄道
路面鉄道
特殊軌道
索道
雪覆い部
停留所及び安全地帯
鉄道及び道部の高架部
送電線
区域界
都道府県界
郡市界
町村・指定都市の区界
大字界
植生界
耕地界
田
畑
桑畑
茶畑
果樹園
その他の樹木畑
芝地
広葉樹林
針葉樹林
竹林
荒地
しの地
やし科樹林
湿地
大
小
被覆
地上
空間
輸送管
岩石を露出する部
滝
せき
水門
流水方向
鉄・コンクリート 桟橋
木製・浮桟橋
徒橋
道路橋
防波堤
捨石
渡船発着所
かれ川
不透過水制
透過水制
いそ・岩礁
岩がけ
雨裂
土がけ
補助曲線
露岩
散岩
おう地

座標系は平成14年国土交通省告示第9号の規定による第Ⅵ座標系
投影は横メルカトル図法
図郭に表示してある座標値はキロメートル単位
方眼は0.5キロメートル間隔
高さの基準は東京湾の平均海面（T.P）
等高線間隔は2メートル

平成 28 年 12 月編集　　本図は、平成２７年３月修正の高石市地形図DMデータ（1：2,500）を基に編集したものである。


0
100
200
500m

計画機関　高　石　市
編纂作業機関　アジア航測株式会社